



議会だより かどがわ



東九州自動車道橋桁

もくじ

6月定例議会	2
視察調査報告	3
一般質問	6
条 例	10

平成19年8月
NO. 111

視察調査報告

総務財政常任委員会

去る5月23日から25日にかけて、

(1) 健全な行政・財政運営及び安心・安全なまちづくり

(2) 新しいまちづくり等二つの主な観点で、門川町と同程度の規模の埼玉県嵐山町と長野県富士見町を視察調査しました。

埼玉県嵐山町

地方分権が進む中、行政に企業経営意識を積極的に取り入れ、地域住民との連携を密にした健全な行政運営の推進と、安心・安全のまちづくりに取り組んでいます。

企業経営意識の導入の主な内容は、①公共事業の削減②公共事業など費用対効果の検証③自主財源の確保④徴収率の向上⑤徴収率の向上⑥徴収率の向上⑦徴収率の向上⑧徴収率の向上⑨徴収率の向上⑩徴収率の向上⑪徴収率の向上⑫徴収率の向上⑬徴収率の向上⑭徴収率の向上⑮徴収率の向上⑯徴収率の向上⑰徴収率の向上⑱徴収率の向上⑲徴収率の向上⑳徴収率の向上㉑徴収率の向上㉒徴収率の向上㉓徴収率の向上㉔徴収率の向上㉕徴収率の向上㉖徴収率の向上㉗徴収率の向上㉘徴収率の向上㉙徴収率の向上㉚徴収率の向上㉛徴収率の向上㉜徴収率の向上㉝徴収率の向上㉞徴収率の向上㉟徴収率の向上㊱徴収率の向上㊲徴収率の向上㊳徴収率の向上㊴徴収率の向上㊵徴収率の向上㊶徴収率の向上㊷徴収率の向上㊸徴収率の向上㊹徴収率の向上㊺徴収率の向上㊻徴収率の向上㊼徴収率の向上㊽徴収率の向上㊾徴収率の向上㊿徴収率の向上

嵐山パトロールセンターの設置

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合い言葉に、区長会が中

6月定例議会

平成19年第2回定例会は、6月14日から22日までの9日間開かれました。今議会においては、規約改正2件、諸報告2件、条例1件、補正2件が審議され、それぞれ承認、可決されました。

今回の補正は、一般会計では6,244万4千円を追加し、予算総額を55億3,444万4千円とするものであり、老人保健特別会計では4,568万4千円を追加し、予算総額を20億1,690万3千円とするものであります。

6月15日の一般質問では、9名の議員が登壇し、町政運営について論戦を行いました。補正予算については各常任委員会付託を省略して、全議員で勉強会を行い、本会議において可決されました。



勉強会の様子

内 容

歳入では

- ・国庫支出金……………1,271万9千円
- ・県支出金……………505万円
- ・繰入金……………3,973万5千円
- ・諸収入……………440万円

歳出の主な事業については

- ・児童手当給付事業……………1,735万円
 - ・幸谷作業道舗装工事……………250万円
 - ・洪水ハザードマップ作成事業……………470万円
 - ・宮ヶ原・竹名地区活動事業……………440万円
- 等であります。



全員協議会の様子

長野県富士見町

平成15年12月、周辺の諏訪地域6市町村の合併を問う住民投票を実施し、『合併には参加しない』道を選択し、副町長直属の新しいまちづくり係(スタッフ3人)を設置し、新しいまちづくりに何が必要で、何が問題なのかについて地域住民との対話を通しての新たな発想のまちづくりに取り組んでいます。

①水環境の保全
水環境マップづくり、水環境を守る講演会をはじめ、平成18年度までに10回の会合を開き「命の源である水」を、自分たちで守る」という認識を深めてきています。また、「天然水の販売」を行い、売上金を水環境保全に活用しています。

②町の主産業は農業と観光
特産品の開発、「地産地消」を目指し地域の食材を活かすため「特産品開発推進交付金事業」を平成17年度から始め、その代表例として「古代米」生産が注目されています。農業・工業・商業について、後継者対策に取り組みんでいます。観光について、彗星ラン「ルバーフ」のPRに力を入れています。

③自転車道のまちづくり
林道車のまちづくり、アドベンチャーレースを開催しています。

④協働のまちづくり
「住民が主、行政が従」への変換に取り組む、その一つに高校生発案で、柿の収穫期にサルが里に降りてくる前に柿を採り入れる作業を高校生が行う

間パトロールは警察、町、ボランティア有志が総勢40〜50人で、月1回実施するなど、ボランティアによる安心安全なまちづくりが進められている。

というものがあります。富士見高校園芸科で生徒が地域の住民の方々と共に、柿木の剪定収穫と干し柿づくりを体験するボランティア活動に取り組む、地域の高齢者はもちろん、地域の方々を元気づける結果となり、一層のふれあい意識が芽生えたということです。

それから、3人のまちづくり専任職員が他にアイデアを出し合うプロジェクトチームを編成したことが、まさに地域住民との「接点」となり、地域を巻き込んでの新しいまちづくりが着実に成果を上げてきているとのことでした。

その他特徴的なもの

として、「プラスチック類の資源物収集」容器包装プラスチック、硬質プラスチックに区分して毎月1回資源物収集を行っていました。また、資源物収集と合わせて、天ぷら油の収集も行っていました。

地方分権が進む中で、一段と厳しさをまでする地方行政のありかたとして、行政運営に携わる全体(議員を含め町民全体)の意識改革が必要で、単純な行政改革ではなく、改革の「目標・数値」を示し「評価・検討」を基本とした行政改革を基調とした行政運営が必要であると痛感したところでした。



嵐山町視察の様子



富士見町視察の様子

文教厚生常任委員会

東京都世田谷区及び長野県下條村

去る、5月16日、18日（3日間）に亘り、東京都世田谷区及び長野県下條村の視察調査を行いました。

まず始めに、東京都世田谷区であります。ここは2005年4月、世田谷区より委託を受けて連携しているブレイバーク世田谷を視察調査しました。そもそもブレイバークとは、普通の公園のようにきれいに整備されていません。廃材とロープによる手づくりの遊具が置かれ丸太が転がり、穴もあちこちに掘られ地面もでこぼこです。ここで子供達は火・土・水・木といった自然と、道具や工具を使って思い思いに遊んでいます。

当然、遊びには事故がつきものであります。が、ここでは「自分の責任で自由に遊ぶ」の

ようにきれいに整備されていません。廃材とロープによる手づくりの遊具が置かれ丸太が転がり、穴もあちこちに掘られ地面もでこぼこです。ここで子供達は火・土・水・木といった自然と、道具や工具を使って思い思いに遊んでいます。

理念で「事故は自分の責任」という考えが根本にあり、行政やNPO法人には一切の責任はないとのことであります。そうしないと禁止事項ばかりが多くなり楽しい遊びが出来ないそうです。年間数件の事故は発生しますが、応急処置や病院への手配、保護者への連絡等を行っているだけだそうです。

様々な価値観を持つ人が出会い、遊びを通してお互いを知り、多様な関係を築き上げて行く為には、求めるばかりでなく、子供が育つ「地域」の課題は地域で話し合いながら自分達で決め、出来る事は自分達でやって行くと言う住民の姿勢が欠かせないと痛感致しました。

次に長野県下條村につきましては、人口4、

216人の小さな村でありましたが、ここ近年、人口・世帯数とも増加しています。特に出生率においては、全国平均1・25人まで減少している中、2・12人という驚異的な数字を出している村であります。

子育て支援として子供の医療費無料化を段階的に拡充し、平成16年度からは中学校卒業時まで無料化、平成9年度から18年度までに若者定住促進住宅建設事業で、集合住宅を建設し近隣の市町村から暮らしやすい下條村に引っ越してくる家族が年々増え続けているとのことでした。入居条件として「今後子供が増える見込みがあること」「地域消防団に入団すること」「若者同士が真のコミュニティを生み、子育てなどに助け合うこと」等を条件とし住宅施設と少子化対策に取り組んでいます。又今年度からは保育料一律10%の引

き下げを行い子育て支援を行っています。こうして村外から若者を招き定着してもらうために、環境の整備にも力を注いでいます。

その一例が上下水道の取り組みです。上水道事業は、昭和60年から平成2年までの6年間で完成し、総事業費29億8千万円。下水道事業は、合併処理浄化槽事業で先行平成15年度まで計画基數比96%の829基を設置し、総事業費は6億3、230万円との事でした。

本町も下水道事業は緊急課題だと思えます。一日も早い環境整備に取り組むよう望むものです。

き下げを行い子育て支援を行っています。こうして村外から若者を招き定着してもらうために、環境の整備にも力を注いでいます。

その一例が上下水道の取り組みです。上水道事業は、昭和60年から平成2年までの6年間で完成し、総事業費29億8千万円。下水道事業は、合併処理浄化槽事業で先行平成15年度まで計画基數比96%の829基を設置し、総事業費は6億3、230万円との事でした。

本町も下水道事業は緊急課題だと思えます。一日も早い環境整備に取り組むよう望むものです。

事業です。この事業は、地域住民の生活環境を整備するために、住民自らが施工する工事に關し、村がその資材支給するものです。村道整備・農林整備・水路整備等が該当します。

そして「村づくりは人づくり」・学校教育改革」をうただし、故郷を愛する気持ちの醸成、生徒議會等を通じ村の実態を理解し実社会勉強を行う。又クラブ活動等の充実を行い、そこからの人の立場を理解する心の醸成、厳しさに耐える精神を養う。国際化時代に対応するための海外研修等々を行っています。

今、下條村には出生率アップの秘訣を知りたいと、全国の自治体から次々と視察が訪れていきます。

以上が調査報告であります。子供が自分の力を身につけるた



視察の様子

産業建設常任委員会

農林水産省

去る5月9日、11日の3日間、農林水産省、浜松市西部農林事務所、京都市勧業館の視察調査を行ってきました。

農林水産省では「九州における農業を支える意欲あふれる担い手づくりの国の振興策について」説明を受けました。現在の農業の実態については農業従事者の減少、高齢化、耕作放棄地の増大など、わが国の農林業が危機的状況にある中、

①農業の構造改革を加速化すること②国際的にも対応できるようにすること③農村地域に対する支援を行うこと以上の3対策の推進を図るとともに、私達が最も憂慮する農業の担い手に対する経営安定のための担い手経営安定新法等の関係法が、平成19年4月より実施

されています。

平成19年度から、認定農業者や集落営農組織、新規に農業を始める方にも支援措置が大幅にアップされています。又、要件に該当しない農業者には農村地域支援対策の地域の共同活動として、農地、農業水等の資源を保全する取り組みと環境の保全向上を目指す営農活動を支援するエコ農業にも地域支援策があります。

説明後の質疑として、①農地の相続登記に関する政策は図られないか②地方にも経営安定策、特に品目横断の安定策について、地域性を活かせるような支援策（補助金の配分等）をお願いできないか。

答弁として、日本農業の根幹の課題だと認識している、色々課題



視察の様子

視察の様子

では、次代を担う子供たち及び子育て中の親を対象に食と農の体験をテーマに、子どもたちに人気の野菜「トマト」の収穫や加工体験を行い、又色々な加工、餅造りなどを実施し、参加者からは農の収穫と食の調理加工の体験が出来、好評であったとのことでした。

本町においても今後、検討すべきものと考えさせられました。

「京都市勧業館」は京都市の伝統ある文化と技術を受け継いでいる、美と技の世界を体験してきました。

研修を終了して感じたことは、門川町の活性化に向かつて、私たちの議員のみの運動にとどまらずに町の活性化を共有する産業建設委員会、農協、漁協、商工会等から参加を求め「門川町産業活性化の会」（仮称）を立ち上げ活動に向けて取り組むを検討する必要があります。ではないかと感じました。

静岡県浜松市の西部農林事務所・京都市勧業館

浜松市西部地域の特産物は、みかん、うなぎなど数多くあり、多品種の野菜、果樹、花等が栽培され多彩な農業が展開されています。「環境にやさしい農業の取り組みについて」であります。が、堆肥の利用による土づくりと化学肥料代替効果を実証し環境に優しい、安心、安全な米づくりの栽培技術を確立する事を目的に平成11年度から取り組んでお

り、エコファーマー認定者が現在15名いるとの事です。

※エコファーマーとは、堆肥無化学肥料、少消費の事であります。

次に、「地産地消や食育の推進の取組について」ですが、情報交換や協働事業を企画し、地産地消フォーラムの開催・昼食交流会や実践者の活動事例の発表等を行い、又、学校給食地場産品導入協議会の設置・栄養士職員の農業生産現場見学会や生産者の学校出前講座を実施しています。その成果として大手ホテルでの「地産地消」フェアや、スーパー等でコーナー設置やフェアの開催、のぼりでのPRが定着してきたとの事です。また、食育の推進活動につい

町長 平成18年度は保育料が約260万円、給食費が小中学校合わせて約71万円の滞納、未収金があった。中には払えるのに払わない保護者が存在することには困惑していたということでした。今後継続して、戸別訪問による納付指導、夜間の自宅訪問、督促状の送

問 保育料、給食費の滞納について、回収実績の把握はできていて、その回収状況は。また、完全回収への方策は。



保育料・給食費の完全回収を

黒木 裕

町長…粘り強く回収に努める

付などを粘り強く実行する。保育料は全国的各地で行われている調査を踏まえ、法的措置なども含めて検討する。

教育長

給食費が滞納されているからといって、食材に影響を及ぼすことはないし、先生とか役員が立て替えて未納のままでいることにはせず、学校とPTAが連携して未収金を納入させていくし、卒業したからといってそのままにせず回収に努めると、給食費の徴収

ケーブルテレビでの議会中継は

問

昨年6月議会での答弁で議会で実施することだった。

町長

費用、機材については検討中だが、9月議会で試験放送が実施できるようにする。



横領問題で調査委員会を作らない具体的理由は

神崎千香子

町長：17年7月に「公金等収納管理委員会」を設置

問 横領金発覚にも関わらず、原因究明もなく説明もない。これでは根本から「町政の闇」を増大させ、信頼回復につながらない。再発防止策も絵に書いた餅にすぎない。調査委員会を作らない具体的理由は。

町長

内部調査の限界と17年7月から、役場の検討委員会、原因の分析をして、「公金等収納管理検討関係課長会」で改善策をまとめ、同年12月議会に報告している。

一千万円の判明時期に関りなく、一連の事件の原因と対策は既に実行されている。私自身も十分考え、職員の意識改革、職場の風土改善に取り組んでいる。

町長

確かに残りの一千万円は内部でわからなかった。今は、17年7月からの対策を職員も一生懸命実行している。

※その他の質問、選挙・人事・西武ゴルフ場・下水処理計画の諸問題

問

私は全庁調査をして、お金の流れをきちつとしない。と言っている。理由は役場の内部調査の後、一千万円横領が判明している。しかも、警察実況見聞調査を調べたら、17年12月に、元係長は「結局、役場の聞き取り調査で、私が隠してきた一千万円の横領がばれることなく…」と言っています。

役場は調査をしていない。それを元に防止策をつくつても、茶番としかいえない。

一般質問

9名の議員が登壇！

年金記録問題は

黒木 義秋



町長…できる範囲で相談を受ける

問

「宙に浮いた5,000万件」問題が国会で審議中であるが今やこの動向は、国民の最大の関心事である。門川町民の中にも過去現在において該当者がいる可能性は十分に考えられる。このような方の相談窓口は、国の出先機関である社会保険事務所になると思うが町においても年金の徴収事務を行っていたこともあり担当課に相談コーナーなるものを設けてはどうかと思うが。町長の考えを伺いたい。

町長

「町の管轄ではないので相談を受けてもデータがなかったり直接返事が出来ない場合がある。延岡社会保険事務所専門の相談窓口を開設し対応していただいているが町でも医療年金係に臨時職員として社会保険事務所OB一人を迎えている。これまで40人近くが訪れていて町としても出来る範囲で相談を受けていく。

学校給食に地元産米を

安田 修



町長：試験的な導入を検討

問

児童・生徒の食育事業が今日程重要視されている現在、学校給食にも地元産米を利用し、その中から食・農のもつ教育をするならば、地域と学校そして児童・生徒を結び絆になると思うがいかがですか。

教育長

地元で生産された農産物を、児童・生徒に提供する考えは、食育基本法に基づき位置づけられており本町も取り入れられている青果物もある。地元産米の使用についても、解決しなければならぬ課題はあるが、前向きに検討し近いうちに試験的に導入したい。

町長

以前から県事業等による管理用道路舗装を要望してきたが困難である。しかし今後も引き続き福祉、健康づくりの立場からも、各地区に適したウォーキングコースの選定等について検討していく。その中で遊歩道ということも頭に入れてながら、堤防整備については土木事務所と相談していく。

問

五十鈴川堤防沿い約2kmに桜を植栽し、その景観作りに一役買っている。その周辺を散策しながら健康づくりに努めている町民も多いが、この間に遊歩道を設置し整備すると一段と楽しみも増し、名所作りと花とみどりのまちづくりにも貢献できると思うがいかがですか。

大迫・加草の浸水対策は

安田 茂明

町長：県に対して要望を行って
いく

問 毎年台風の時期になると、この地区の住民の方々は、丸バエ川の増水を、大変心配しているが、町としては、どの様な対策を考えているのか。

松瀬地区（松瀬）川水流線（の道路改良は

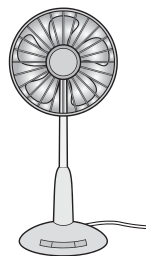
問 地区住民は道幅も狭く車の離合が、大変怖いとの声を聞くが町は広くする計画は。

松瀬地区の急傾斜建設について

問 家の裏山より、今にも落ちそうな、岩が幾つもあがるが、災害が起きる前に対策を。

町長 延岡市北方町側との協議で国の事業の採択に向けて歩調を合わせて進めて行く。

町長 県、消防関係の方々と近々現地の調査を行いたい。



町長 丸バエ川の堆積土砂については、県土木事務所に、取り除くように要望している。又水門管理を行っているが、強制排水が、最も有効である。県に対して、要望を続けて行きたい。

水永 正継

「サテライト宮崎」の門川進出問題は

町長：ウエルカム（歓迎）ではなかった



問 ギャンブル施設が門川町にできることに對して、町長自身の考えを伺いたい。

町長 私はもとも「サテライト宮崎」が門川町にできることに對しては、事業主体の武雄市や「サテライト宮崎」に對してウエルカム（歓迎）ではありまじんと申し上げている。

問 町内巡回バスの実現について、調査研究を含む前向きな取り組みの意思はないか。

町長 日向市から本町を経由して美郷町北郷区へ廃止代替バスが走っているの、西門川地区住民の交通手段は確保されている。また、延岡細島間の定期路線バスに日向病院を経由させて通院者の利便性をはかっている。さらに福祉車両による外支援助事業の委託を行っているの、高齢者や交通弱者の交通手段はある程度確保できている。

問 門川神社一帯や「松寿園」跡地を津波等の緊急避難場所として確保はできないか。

町長 津波等の場合は、短時間で高台に避難しなければならぬので、質問の場所については緊急に避難すべき場所として利用していただきた。

問 門川神社一帯を公園化し、町民憩いの場所とすることはできないか。

町長 公園事業としての整備は困難だが、町有地の部分は緑豊かな憩いの場所として利用できる。また、調整池は人と自然が共存できるビオトープとして整備していきたい。

問 元老人ホーム「松寿園」の跡地も町民憩いの場所として利用はできないか。

町長 公共施設用地としての有効活用を含めて検討する。

問 門川神社一帯や「松寿園」跡地を津波等の緊急避難場所として確保はできないか。

福祉サービスの向上は

安田 厚生



町長：慎重に検討

問 老人ホーム松寿園が地球館に移行後、立ち入り禁止になっている跡地の有効利用について、高齢者のグラウンドゴルフやゲートボールやスポーツ少年団などの利用要望があります。将来どのような利用計画があるのか。

して行く。この土地は町中心部にあり面積も広く、将来的に有効に利用していかねければならないと考え、ある程度の方角性を付けながら真剣に慎重に検討していきたい。

町長 現時点では決まっていけない。一部を高年齢者クラブのゲートボール場として使用を許可している。現状での利用については、少年団などからの要望があれば検討

問 高齢者にタクシーの割引券の発行についてであります。高齢者の病院への通院や公共施設などの移動の際、タクシーを利用し、自己負担が大きく苦勞している状況があります。高齢者や障がい者の移動手段としてタクシーの割引券の発行

をすることは出来ないか。

町長 タクシーに乗る際にどうやって本人かどうか確認するかなどの問題がある。割引券については、他の市町村などの例と比べると本町では財政が厳しい。社会福祉協議会等の外出支援サービス事業などの利用をしていただき、今後、交通手段が困難な高齢者や障がい者へのきめ細やかなサービス向上に向けた検討を進めたい。

今後の商工業の振興は

小林 芳彦

町長：ち密に取り組みながら全体の産業の流れを構築していく



問 商工業の今後の振興策は。

町長 門川町だけでなく県北物流学習会や県北10市町村による企業立地の推進協議会などを通して、どのような振興を講じることができるかを考えなければいけません。

問 また、町として19年度の振興策は、商工会を中心に商工業マップの作成、頑張る店舗支援事業、観光案内板などに取り組んでいます。

町長 流出する企業は、町内でも優良企業であります。企業形態を大きくしようとしても用地が一番のネックとなつています。用地調査を実施し企業を紹介するが

問 町内企業の流出防止策は。

町長 商工業部門の産業分類は多岐に亘っているの、分析が難しいが19年度当初予算ベースで、町内の商工業部門における法人町民税は、9,168万ほど、固定資産税は2億1,365万程、給与所得税1億4,300万程であります。合計すると約4億5千万程の納税で、19年度予算における町税が1億2,786万6千円でありますので占める割合は29・8％であります。



宮崎県総合防災訓練



地震だ！津波だ！その時どうする？非常時の備え大丈夫ですか？

5月26日～27日二日間に亘り、宮崎県総合防災訓練が行われました。

本町におきましても、あまりみられない特殊訓練を目の当たりにし日頃からの訓練が重要だと実感しました。



土嚢積訓練



山形県村山市

5月29日、山形県村山市の産業建設常任委員7名が、庵川地区の集落営農への取組について行政視察に来られました。

4月25日、徳島県阿南市の副市長を始め12名の方々が行政視察に来られました。町長から門川町の紹介と概要説明を受け、本町における水産業について研修をし、同時にうみすずめ直売所の見学が行われました。

徳島県阿南市

町外からの行政視察！

去る6月8日に臨時議会が開かれました。町税条例、国民健康保険税条例、18年度一般会計補正予算の専決について審議し、承認されました。そして、国民健康保険税条例の一部を改正することを可決しました。

臨時議会

第三セクター・宮崎ウッドテクノが経営破たんしました。負債総額は9億8千万円。門川町・日向市・美郷町・諸塚・椎葉村が出資・貸付を行っていました。

破産手続き開始！

宮崎ウッドテクノ

※市町村合併により平成19年3月31日に北川町が延岡市と合併したことに伴う整備

宮崎県北部広域行政事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮崎県北部広域行政組合規約の変更（原案可決）
宮崎県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少（原案可決）



門川神社神楽

門川町税条例の一部を改正する条例（原案可決）

改正内容

- ① 信託法の一部改正（18年12月15日）に件ない、法人課税信託の受託者と受益者の取扱いの整備
- ② 証券取引法が金融商品取引法に改正（18年6月14日公布）法律名、条項、用語等の税法上の整備
- ③ 優良宅地の土地等の長期譲渡所得の特例を3年延長するための改正

条例改正

米良 昭平

町長.. 商工会と連携し企業支援



問

門川町の活性化に雇用が必要。町長の取り組みを伺いたい『企業誘致推進状況は。町内事業所活性化に向けた取り組みは。』

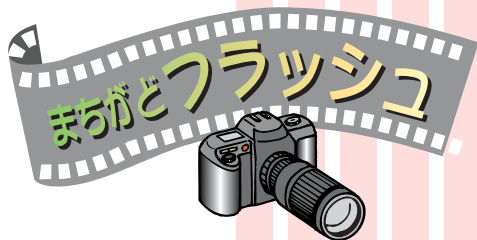
町長

昭和46年以降、23社を誘致したが、平成8年以降は景気低迷などで誘致がない。庁内に設置している企業誘致推進委員会で引き続き、誘致の方策や用地確保などについて検討が必要。委員会でも企業調査や視察研修などを実施し、情報収集に努めたい。県北域全体の振興の中で、町の特徴を生かした取り組みが必要だ。



商工業マップ作製、観光案内板設置、商工会と連携した店舗支援事業などによって促進していく。又県の業界情報等を収集して活用推進を

雇用対策を問う



心の杜公園



台風4号真直中



五十鈴小 田植学習

写真を提供して下さい!!



写真に興味をお持ちの方、
写真の好きな方、日頃撮影
しました写真をご提供下さ
い。本誌の表紙、まちかど
フラッシュ等に使用したい
と思います。
有志の方は議会事務局へ
郵送、あるいは直接届けて
戴くと幸いです。写真はお
返しします。
お待ちしております。



阿南市行政視察

編集後記

暑中御見舞 申し上げます

(議員一同)

◆夏到来。その日の疲れを
持越さず、常に快眠快食
で夏を乗りきりたいもの
です。

(黒木 裕)

◆海鳥カムリウミスズメと
その世界最大の繁殖地枇杷
島が、門川からも世界に向
って自然の大切さを発信し
ていますね。

(水永 正継)

◆最近道路にチリやタバコの
吸い殻らがめだつて来まし
た。各人拾てない様に心が
けましょう。

(千草 力生)

◆消防で操法訓練が行われて
います。日向支部大会に出
場される各部は優勝めざし
て頑張ってください。

(安田 厚生)